

地方行政サービス改革の取組状況等(平成31年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
132276	東京都	羽村市	都市 II-2

(1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】	
			類似団体委託率	全国(市区町村分)委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.5%
本庁舎の夜間警備			98.8%	98.6%
案内・受付			94.6%	91.4%
電話交換			96.9%	94.1%
公用車運転			89.3%	87.6%
し尿収集			93.0%	98.0%
一般ごみ収集			96.6%	97.3%
学校給食(調理)			81.8%	69.7%
学校給食(運搬)			96.2%	90.7%
学校用務員事務			33.8%	35.6%
水道メーター検針			98.8%	98.9%
道路維持補修・清掃等			100.0%	97.1%
ホームヘルパー派遣			100.0%	99.0%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			100.0%	99.6%
ホームページ作成・運営			95.9%	97.2%
調査・集計			95.2%	96.2%

※平成31年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

(3)窓口業務

総合窓口の設置

設置状況	設置予定無し	→	予定時期	-
------	--------	---	------	---

窓口業務の民間委託

委託状況	委託予定無し
------	--------

【参考】

類似団体		全国(市区町村分)	
総合窓口設置率	委託率	総合窓口設置率	委託率
17.2%	28.0%	13.2%	23.6%

BPRの手法を用いた業務分析

取組状況	→	業務改革効果
------	---	--------

(4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	→	対象部局	対象業務
実施済	委託予定無し	→	首長部局 企業局 教育委員会 その他	給与 旅費 福利厚生 財務会計

【参考】

類似団体	
実施率	委託率
38.7%	3.2%
全国(市区町村分)	
実施率	委託率
28.9%	3.2%

「実施予定無し」及び「首長部局未設置団体」は「未実施の理由」を、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。  
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

BPRの手法を用いた業務分析

取組状況	→	業務改革効果
------	---	--------

(2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】	
							類似団体導入率	全国(市区町村分)導入率
体育館	1	0	0.0%	費用対効果等も含め、現行の体制で運営していくことが望ましい。	1	費用対効果等も含め、現行の体制で運営していくことが望ましい。	59.1%	39.8%
競技場 (野球場、テニスコート等)	1	1	100.0%		0		57.8%	47.6%
プール	2	2	100.0%		0		73.5%	50.2%
海水浴場	0	0			0		38.5%	13.6%
宿泊休養施設 (ホテル、温泉保養所等)	1	1	100.0%		0		90.7%	86.5%
休養施設 (公衆浴場、湯・山の家等)	0	0			0		82.2%	76.0%
キャンプ場等	0	0			0		65.3%	58.1%
産産情報提供施設	1	0	0.0%	建物が制度構造になっていないことから、現状で指定管理者制度を導入することは難しい。	0		71.9%	75.0%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		46.7%	64.2%
開放型研究施設等	0	0			0		88.9%	52.0%
大規模公園	0	0			0		47.9%	42.6%
公営住宅	5	0	0.0%	コスト増が見込まれるため、現行の体制での運営が望ましい。	0		13.2%	14.3%
駐車場	1	0	0.0%	管理体制において民間委託を導入しており、指定管理者制度を導入するメリットがなく、検討を行っていない。	0		31.0%	38.0%
大規模遊園、斎場等	2	0	0.0%	費用対効果を含め、現行の体制で運営していくことが望ましい。	0		20.9%	21.8%
図書館	1	0	0.0%	運営経費の面で削減効果が低く、公共の図書館としての使命・役割を考えた場合に、導入することの課題が多い。	1	施設の管理や費用対効果等の理由から現行の体制での運営が望ましい。	18.0%	19.4%
博物館 (歴史館、科学館、自然史館、動物館等)	2	1	50.0%	費用対効果等も含め、現行の体制で運営していくことが望ましい。	1	費用対効果等も含め、現行の体制で運営していくことが望ましい。	27.3%	27.8%
公民館、市民会館	2	0	0.0%	生涯学習センターは、運営方法の検討において、事業の企画運営は市民協働事業と、施設管理は、民間業者に委託する方針としている。コミュニティセンターは、大規模改修の検討を行っている。	2	運営については、行政がマネジメントを行うことが望ましい施設と判断している。	23.3%	23.0%
文化会館	0	0			0		63.5%	51.8%
合宿所、研修所等 (青少年の家を含む)	1	1	100.0%		0		50.0%	48.0%
特別養護老人ホーム	0	0			0		100.0%	73.5%
介護支援センター	0	0			0		43.8%	50.4%
福祉・保健センター	4	0	0.0%	利用料金制の導入が困難であり、費用対効果を含め、現行の体制で運営していくことが望ましい。	3	費用対効果を含め、現行の体制で運営していくことが望ましい。	49.7%	53.2%
児童クラブ、児童館等	15	0	0.0%	児童館・児童クラブの運営方法について、市内のプロジェクトチームにおいて検討を行っている。	15	従来から臨時職員を配置。現在、運営方法について民間活力の導入を検討。	24.0%	23.0%

(5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	→	類型	実施時期	自治体クラウドへの移行時期
		→	自治体クラウド		
		→	単独クラウド	平成30年度	令和10年度以降

【参考】

実施率(類似団体)	
自治体クラウド	単独クラウド
24.7%	36.6%
全国	
自治体クラウド	単独クラウド
28.9%	39.4%

実施予定

→	類型	実施予定時期
→	自治体クラウド	
→	単独クラウド	

検討中

→ 検討状況

未実施

→ 実施しない理由

(6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	→	策定予定	→	策定予定時期
-----	---	---	------	---	--------

【参考】

類似団体		全国(市区町村分)	
策定割合	策定割合	策定割合	策定割合
100.0%	99.8%		

(7)地方公会計の整備

統一的な基準による財務書類の作成状況(一般会計等財務書類)

作成済	○	→	作成予定	→	作成完了予定年度
-----	---	---	------	---	----------

【参考】

類似団体		全国(市区町村分)	
作成割合	作成割合	作成割合	作成割合
95.7%	94.8%		

(注1)統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するよう要請されているが、当該調査における「作成済み」は、平成27年度から平成29年度までのいずれかの決算に係る財務書類を作成した団体をいう。